

学校においては、教職員一人一人が経験年数に応じ、自らの役割と責任を自覚するとともに「常に学び続ける」その能力が十分発揮されることにより、自校の課題解決を図ることができる。そのため、教職員が自らの資質能力の向上を図り、その職務を遂行するために自発的、積極的に研究と修養に努めることが重要である。

育成をめざす資質・能力

- 実際の社会や生活で生きて働く
「知識及び技能」の習得
○未知の状況にも対応できる
「思考力、判断力、表現力等」の育成
○学んだことを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力、人間性等」の涵養

中頭指導行政の基本方針

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造
～地域に根ざし、共に子供の育ちを保障する魅力ある学校づくり～

- 「子供の意識と行動に適合した4つの効果のある指導
1 「自分への信頼」を醸成する勇気づけのボイスチャワワー
2 「規範意識を育むための「人のことを大切にしておくこと」の徹底
3 目標設定に基づき主体的な学びづくり
4 子供のエネルギーを活用した自学・自治的活動と相互の勇気づけ

重点事項 学び合う教職員の資質・能力向上

Table with 2 columns: 取組事項, 研修の視点. 取組事項: 1 授業研究と日常の授業を結び校内研修の充実, 2 校内OJTの充実による人材育成の推進, 3 授業力向上に向けた公開授業の実施, 4 教科部会や学年会等の充実による授業改善の推進. 研修の視点: 1 複雑化・多様化した課題や変化が激しい時代の中で、新しい時代の教育への対応などができる学校教育を実現するために、教員一人一人が実践的な指導力などの資質能力の向上を図る.

令和5年度の状況
中頭指導行政重点事項の達成状況の点検(12月)
○問いサボ活用・授業改善(新規項目)
小(40.9%←30.3%) 中(9.7%←20.0%)
○校長の授業参観
小(8.4回←7.7回) 中(5.7回←5.9回)
○教頭の授業参観
小(4.7回←4.4回) 中(3.2回←3.1回)
○補習の時間確保
小(49.3%←52.3%) 中(9.7%←26.7%)
○指導案作成をもたない授業実践の機会
小(64.2%←60.6%) 中(25.9%←30.3%)
●全国学調の分析・考察、情報共有
小(46.3%←55.5%) 中(38.7%←16.7%)
○めざす子供の姿、授業・学校像校長講話の共有
小(83.6%←64.3%) 中(77.4%←46.7%)
○働き方改革のための組織構成
小(44.8%←27.3%) 中(22.6%←6.7%)

- 国・県の施策
○教育基本法第9条
○教育公務員特例法21条
○中教審教員養成部会
○教職員研修事業計画書
○学習指導要領(平成29年)
○小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)(平成31年)
○沖縄県21世紀ビジョン基本計画
○沖縄県教育振興基本計画
○学校教育における指導の努力点
○沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトII
○「問い」が生まれる授業サポートガイド
○学校改善ツール・授業改善ツール
○沖縄県学力向上推進本部会議からの提言 ●重点事項：取組1～5

学校の取組
沖縄県公立学校教員に求める四つの力

Diagram showing four pillars: 1 教職を支える力, 2 生徒指導力, 3 教育実践力, 4 学校運営力. Each pillar includes specific sub-points like '倫理観・使命感・責任感' and '児童生徒理解'.

- 【教職員研修内容(授業)】
①教育課程編成・実施に関する研修
②校内における協働体制に関する研修
③学力の向上を図る研修
④「指導と評価の一体化」に関する研修
⑤「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関する研修
⑥外国語教育・国際理解教育の充実を図る研修
⑦道徳教育の充実を図る研修
⑧特別活動の充実を図る研修
⑨特別支援教育の充実を図る研修
⑩ICT機器を活用した情報教育の充実を図る研修

- 【教職員研修内容(連携)】
①生徒指導の充実を図る研修
②キャリア教育の充実を図る研修
③職員の服務、倫理、幼児児童生徒の人権に関する研修
④平和教育の充実を図る研修
⑤危機管理に関する研修
⑥環境教育の充実を図る研修
⑦へき地教育の充実を図る研修
⑧幼稚園・認定こども園・保育所教育の充実を図る研修
⑨学校図書館の充実を図る研修
⑩教員の地域連携の充実を図る取組

キャリアステージに応じた経験段階とステージ像

Five columns representing career stages: 採用ステージ (1年目), 基礎ステージ (2~4年目), 充実ステージ (5~9年目), 発展ステージ (10~17年目), 指導ステージ (18年目以降). Each stage includes descriptions of activities and goals.

わたーわらびの学力保障と成長保障

チーム学校づくりの推進

Table with 5 columns: 「問い」と「対話」が生まれる研修会, 授業研究・改善の取組, 主体的・対話的で深い学びを推進する教師力. Each column lists specific activities and goals.

めざす教職員像
○人間性豊かで、教育者としての使命感と幼児児童生徒への教育的愛情がある
○幅広い教養と教職に関する専門的知識・技能を有し、常に学び続ける実践的指導力がある
○自然・歴史・文化に誇りを持ち、多様性を受容し、グローバルな視点を兼ね備えている
○豊かなコミュニケーション能力を有し組織力を活用できる総合的な人間力を持つ

- ★研修観の転換を図り、「相似形の研修」の実践を活かしたエージェンシーの発揮
○「相似形」の研修を基本とする校内研修、教科会、学年会等、同僚やメンター(支援者)とのかかわりによる組織的な取組(研修に対する共通言語の創出)
○授業研究会を実施するとともに、研修の成果を振り返り、実際の授業に生かす(個別最適な学び、ICT機器の利活用)
○指導と評価の一体化のために「単元の評価規準」を作成する(学習・指導改善)
1 子どもの姿や発表を丁寧にみる、聞く(捉える)
2 子どもの思いや考えを理解する(解釈する)
3 本時のねらいとの関係を考える(照合する)
4 どのように振る舞うか決める(判断する)
5 分かりやすく板書したり端的に発問したりする(振る舞う)

カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進